

◎注意事項をよくお読み下さい

りそな 経済フラッシュ

(日本10-12月期GDP1次速報値)

2018/2/14

りそなホールディングス 市場企画部

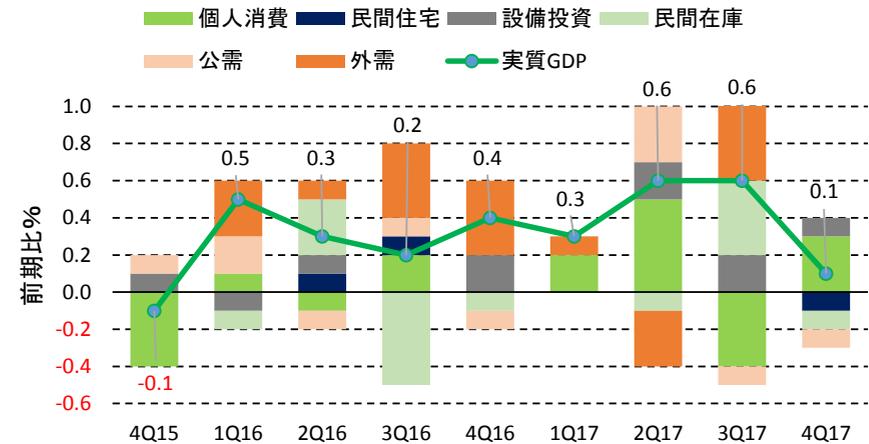


〇概況

- ◆ 10-12月GDPは前期比+0.1%と市場予想を下回るも8四半期連続のプラス成長
- ◆ 個人消費が持ち直した一方、公的需要や民間住宅が指数を下押し
- ◆ GDPデフレーターは0.0% (7-9月期+0.2%)

- ✓ 2月14日内閣府発表の2017年10-12月期実質GDP1次速報値は、前期比+0.1% (年率+0.5%) と7-9月期 (+0.6%) から伸びが鈍化し、市場予想 (前期比+0.2%、年率+1.0%) を下回ったが、8四半期連続でプラス成長となった。悪天候の影響で前期不振となった個人消費が持ち直した一方、民間住宅、公的需要が指数を押し下げた (右図)。実質GDPに対する寄与度では、民間需要が5四半期連続でプラスとなった一方、公的需要は2四半期連続でマイナスとなった。GDPデフレーターは前年同期比0.0%となった。
- ✓ 個人消費は前期比+0.5% (寄与度+0.3%ポイント：以下pp、7-9月期▲0.6%) と市場予想 (+0.4%) を上回った。耐久財消費が+3.6%、サービス消費が+0.3%と共に2四半期ぶりのプラスとなり、悪天候の影響でマイナスとなった前期から持ち直した。
- ✓ 民間住宅は前期比▲2.7%と2四半期連続の前期比マイナスとなった (寄与度▲0.1%pp、7-9月期▲1.5%)。
- ✓ 設備投資は前期比+0.7% (寄与度+0.1pp、7-9月期+1.0%) と市場予想 (+1.1%) を下回ったものの5四半期連続のプラスとなった。
- ✓ 公的需要は前期比▲0.2% (寄与度▲0.1pp、7-9月期▲0.5%) と2四半期連続のマイナスとなった。政府消費が▲0.1% (寄与度▲0.0pp)、公共投資が▲0.5% (寄与度▲0.0pp) と共にマイナス。
- ✓ 外需 (輸出-輸入=純輸出) の寄与度は▲0.0ppと2四半期ぶりにマイナスとなった。輸出が前期比+2.4% (7-9月期+2.1%) 増加となったが、輸入も+2.9% (7-9月期▲1.2%) と増加したことが寄与度を押し下げ。
- ✓ GDPデフレーターは前年同期比0.0% (7-9月期+0.2%)。市場予想 (0.0%) に一致。国内需要デフレーターは+0.5% (7-9月期+0.5%)。

【実質GDP成長率 需要項目別 (前期比)】



出所：IN情報センター

前期比 寄与度%pp	2016		2017		
	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12
実質GDP	0.4	0.3	0.6	0.6	0.1
民間	0.2	0.2	0.6	0.1	0.2
個人消費	0.0	0.2	0.5	-0.4	0.3
民間住宅	0.0	0.0	0.0	0.0	-0.1
設備投資	0.2	0.0	0.2	0.2	0.1
民間在庫	-0.1	0.0	-0.1	0.4	-0.1
公需	-0.1	0.0	0.3	-0.1	-0.1
政府消費	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
公共投資	-0.1	0.0	0.2	-0.1	0.0
公的在庫	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
外需	0.4	0.1	-0.3	0.5	0.0
輸出	0.5	0.3	0.0	0.4	0.4
輸入	-0.1	-0.3	-0.3	0.2	-0.4

【出所】内閣府、IN情報センター

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客さまご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。